



和歌山県主催

がん患者 生殖機能 温存支援 県民公開講座

「がんになってもママ・パパになるために」

がん医療は進歩していますが、治療内容によっては、妊娠する力（妊孕性にんようせい）が低下したり、将来子供を持つことが難しくなることがあります。

和歌山県では、将来子供を産み育てることを望む小児、思春期・若年がん患者さんに対して、将来に希望を持って治療に取り組むことができるよう支援するために、がん治療開始前に行う生殖機能温存治療に必要な費用の助成を、今年度より開始しました。

この度、がん生殖機能温存治療の取り組みを広く知っていただくために、公開講座を開催しますので、ぜひご参加ください。

日時

令和2年 **3月15日(日)**
13:00～15:00
(受付開始12:30)

場所

和歌山県立図書館 2階
メディア・アート・ホール
(和歌山市西高松1-7-38 地図は裏面)

入場無料

定員 **200名**
(定員になり次第締め切り)

申込方法

裏面申込書
またはTEL



こちらのホーム
ページからも
申し込みできます

講演1

「がんになっても母になりたい」

若年性乳がんサポートコミュニティ
Pink Ring 代表

みふね みえ
御船 美絵 氏

(講師プロフィール)

大学卒業後、出版社に勤務。2010年31歳の時、乳がんを罹患。闘病中に自身が欲しかった“若年特有の悩みを共有できる場”を広げるべく、2014年より若年性乳がん患者支援団体「Pink Ring」代表。がんを価値ある体験に変えて生きられるよう患者支援活動を行う。ライター経験と闘病体験を生かし、がんに関連する取材・執筆・講演も行う。がん治療後、2018年秋に出産し、1児の母。CNJ 認定乳がん体験者コーディネーター。「乳がん患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療の手引き(2017年度)」外部評価委員。



講演2

「卵子・精子の凍結保存について」

うつのみやレディースクリニック
院長

うつのみや ともこ
宇都宮 智子 先生

(講師プロフィール)

和歌山県立医科大学卒業。2010年より和歌山市内に不妊治療専門クリニックを開業。2013年から若年がん患者の卵子・精子凍結保存も行っている。医学博士、産婦人科専門医・指導医、生殖医療専門医、臨床遺伝専門医



お問い合わせ

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課
TEL 073-441-2640 / FAX 073-428-2325

和歌山県主催 がん患者生殖機能温存支援 県民公開講座

参加申込書

FAX : 073-428-2325

アドレス : e0412001@pref.wakayama.lg.jp

定員になり次第締め切り

お名前	電話番号	(関係機関の場合) ご所属・職名
手話通訳をご希望の方は、右欄に○をつけてください。 (令和2年2月21日(金)までにお申し込みください)		

- FAX、Eメール、またはTELにて**3月6日(金)**までにお申し込みください。
- 参加受付の通知は行いませんので、ご了承ください。



※ 本申込書にご記入いただいた個人情報は、当公開講座の開催にのみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。